



# 新年のご挨拶

理事長 西片 多門

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成から令和へと元号が変わり県税協もその歴史に新たな一步を記させて頂きました。

日頃は、組合員及び賛助会員そして関連企業の皆様にご協力をいただいておりますことを御礼申し上げます。

また、令和元年は8月に山形県沖地震により村上地域に被害を受け、秋には2つの台風により関東甲信越地方から東北にかけて甚大な災害があった年でした。被害にあわれた会員に対し心より御見舞い申し上げます。

さて、目標の1つとして地域の会議等に出席させて頂いて、いろいろなご意見を伺う事としておりますが、昨年は長岡・巻・新津地域の業務推進会議に出席させていただきました。村上地域については調整がつかず今年の最重点目標とさせていただきます。

県税協の事業では昨年2月からの保険の売り止めが響き、保険事業の新規契約において苦戦いたしました。以下各事業につき説明させていただきます。

## 1. 全税共事業

**全税共第34回全国統一キャンペーン(期間:令和元年9月~11月)**

6月~8月迄のプレキャンペーンは受賞者数113名で前年より9名の減少でした。9月~11月における本キャンペーンもその流れを受ける形で受賞者数は前年を割り込む予測となっております。(R1.11現在)

今年の表彰式は2月5日ホテルオークラ新潟で執り行います。受賞者の皆様には全員がご出席してくださいませようお願い申し上げます。

今年は生保別に個別業推を行い、実績を上げるべく努力いたします。

## 2. 総合事業保障プラン(大同生命)

新規契約は4月~10月は86億円と前年の162億円と比較して半分に減少しております。

昨年は10月に営業拠点の代表者と業推会議を行っておりますが、この実績では今後の対策を練り直す必要を感じています。

## 3. あんしん財団

当財団につきましては財団の福利厚生事業に対する方針転換も有り、県税協としては広報に努めているところです。

## 4. 教育事業

実務研修会は5回、シリーズセミナー(各3回シ

リーズ)を2回そして県連主催の研修会と全国統一研修会に協賛いたしました。

4月9日の岩下忠吾先生の実務研修会では高田地域のホテルハイマートにてライブ配信の研修を行いました。

県税協主催の実務研修会の受講料につきましては組合員・賛助会員は2千円、非組合員・非賛助会員は8千円とさせていただきます。

## 5. 情報事業

「税務インデックス」の無料配付は6月に行いました。

また、暮れの「希望書籍の無償配付」は金額を1万5千円に増額し、取り扱う出版社も3社増やし、7社と利用範囲を広げました。

## 6. 購販事業

株式会社ミツウロコヴェッセルと提携し電気供給事業の契約をいたしました。見積りを請求の上、ご自身の事務所はもとより、関与先へのご提案等にご活用いただきたいと思っております。

## 7. 地域運営費等

各地域運営費につきましては総代会終了後速やかに各地域に送金する旨指示しておりましたが、昨年が役員変更の年で新地域長名義の通帳作成等で7月末に送金いたしました。

県連との共済事業の負担金は従来、半期の終わりにお支払していましたが、半期ごとの初めにお支払することとし、利便性を高めました。

## 新年度の方針

新規の保険募集が厳しい状況には有りますが提携生保との連携を深める事により対応してまいります。そのためには業務推進会議が有効と考え計画いたします。

研修会に関係する業務をはじめ事務局の業務量が増えております。予てから残業時間を減らすように指示しております。今後関連団体にもさらに協力して頂いて業務の効率化を推進して行く事が必要です。

今年も組合員そして賛助会員の皆様の希望に沿えますように組合事業に邁進して行く覚悟でございます。その為に安定的な収益を確保出来る様、提携企業各社との連携を深めてまいりたいと思っております。

結びに当たり、令和2年も組合員・賛助会員そして提携企業の皆様にとり佳い年でありますことをお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。